

予算審査特別委員会では、審査中に出された 153 件の要望を精査して、特に重要な点を 8 つにまとめ、審査意見とし、町に示しました。

町は、今後の施策・事業策定にあたり検討事項としていきます。

令和 7 年度予算審査意見

- ①90 周年事業の計画・実施は、「こどもまんなか」の具体化も含め、町民、学生、民間事業者の参加で、新しい意見を取り入れ、魅力ある取り組みとされたい。
- ②発災時は、火災発生も視野に入れ、速やかに避難行動の判断ができるよう、平時からの啓発と的確な情報発信を強化されたい。
- ③社会福祉協議会は、地域福祉に重要な役割を果たしており、持続性のある組織構築に最大限の支援をされたい。
- ④教育現場における暑さ対策については、体育館を含め、学習活動に支障が出ないよう速やかに取り組まれたい。
- ⑤地域役員のなり手・担い手不足について、負担軽減、町組織での位置付けの見直しなど、対策の強化を図られたい。
- ⑥ゼロカーボンシティ宣言に向け、具体的施策を実行するとともに、町民に理解が浸透するよう取り組まれたい。
- ⑦子どもや青少年の活動は、地域や町の取り組みへの参画を促すなど、継続して支援されたい。
- ⑧「ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい」は、子どもたちの意見を活かし、戦争体験者の記録保存、参加者の拡大、世代継承に取り組まれたい。